

特別の教科 道徳の研究

1 特別の教科 道徳で目指す子ども

道徳的価値の理解を基に、よりよい行為の検討を通して、適切な行為を主体的に判断し実践しようとする子ども

特別の教科 道徳では、子どもが将来出会うであろう、様々な場面や状況において適切な行為を主体的に判断し、実践していくことが求められている。そのため、授業では道徳的価値それ自体の意義や普遍性などについて多様な角度から考えを深め、実生活をいかによりよく生きるかを模索させる指導が重要とされている。

当校では、子どもが「見方・考え方」を働かせて、よりよい行為の検討を通して、適切な行為を主体的に判断することを重視する。

よりよい行為の検討とは、道徳的な問題に対して「どうすることがよいのか」「自分は何を大切に判断するのか」「本当に大切なのか」と、主人公や自分自身の判断の理由を友達と一緒に考えることである。このような検討を行う中で、自分とは異なる考えに触れることができる。道徳的な問題を、様々な立場から見てみたり、一つのことを様々な角度から見てみたりできるようになる。

適切な行為を主体的に判断するとは、行為の選択を安易にするのではなく、「自分は何を大切に判断するのか」「相手はどのように考え、何を大切にしているのか」と考えたうえで、判断することである。このような子どもは、行為の意味を理解しつつ、場や状況に合った行為を選択することができる。そして、主体的に判断した行為を具現するための在り方を考える。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 第5学年

道徳的価値の大切さを理解し、これからの自分の生き方を考える子ども

剣は、「考え・議論する道徳」の授業を行う。「考え・議論する道徳」とは、自分の考えを基に、友達と対話し、自分の考えを広げたり深めたりする学習である。

まず、子どもが道徳的な問題を自分とのかかわりで考えられるようにする。具体的には、教材をきっかけにして個人の考えを表出させ、学級全体で共有させる。子どもは、一つの問題場面において多様な考えがあることを知る。これにより子どもは、「どうすることがよいのか」「なぜ、そのように考えるのか」と、問いをもつ。

次に、多様な考えを道徳的価値に基づいて類別し、みんなで考えたいこととして学習課題を設定させる。ここでは、みんなで考えたいことの原因も問う。子どもが設定する学習課題は、「本当の友達とは何か」という道徳的価値の意味を考えるものであったり、「約束も夢の実現もどちらも大切。どのように判断すればよいのか」という道徳的価値の大切さを考えるものであったりする。

そして、学習課題を解決させるために哲学対話の場を設定する。哲学対話とは、10人程で円座になって行う対話の手法の一つである。対話をする中で、道徳的価値についてのとらえが広がったり深まったりする。

最後に、振り返りの時間を設定する。1時間の授業の中で自分の考えがどのように変容したのかを自覚することができる。

3 特別の教科 道徳の学習で働かせる「見方・考え方」

	主として自分自身に関すること	主として人とのかかわりに関すること	主として集団や社会とのかかわりに関すること	主として生命や自然，崇高なものとのかかわりに関すること
見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○自分自身に関する道徳的価値の本質や意義に着目すること ○自分自身に関する道徳的価値を多面的・多角的に考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ○人とのかかわりに関する道徳的価値の本質や意義に着目すること ○人とのかかわりに関する道徳的価値を多面的・多角的に考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団や社会に関する道徳的価値の本質や意義に着目すること ○集団や社会に関する道徳的価値を多面的・多角的に考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ○生命や自然，崇高なものとのかかわりに関する道徳的価値の本質や意義に着目すること ○生命や自然，崇高なものとのかかわりに関する道徳的価値を多面的・多角的に考えること
○これまでの経験やそのときの考え方，感じ方に着目すること				

4 特別の教科 道徳で育成する資質・能力

	主として自分自身に関すること	主として人とのかかわりに関すること	主として集団や社会とのかかわりに関すること	主として生命や自然，崇高なものとのかかわりに関すること
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値の理解 ・善悪の判断，自立，自由と責任 ・正直，誠実 ・節度，節制 ・個性の伸長 ・希望と勇気，努力と強い意志 【高学年】 ・真理の探究 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値の理解 ・親切，思いやり ・感謝 ・礼儀 ・友情，信頼 【中学年，高学年】 ・相互理解，寛容 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値の理解 ・規則の尊重 ・公正，公平，社会正義 ・勤労，公共の精神 ・家族愛，家庭生活の充実 ・よりよい学校生活，集団生活の充実 ・伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度 ・国際理解，国際親善 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値の理解 ・生命の尊さ ・自然愛護 ・感動，畏敬の念 【高学年】 ・よりよく生きる喜び
② 思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよく生きるために根拠を明確にして判断する力 ○どのように行動したらよいかを具体的に考え，表現する力 			
③ 態度	○判断の仕方や行為の在り方を実生活で具現しようとする態度			